

<今回>3442回目 2024年32月115日(月)14時~17時 6011会議室

読書は10冊目「失われた九州王朝」再読朝日文庫 p524510、オシサカかイシサカか両者は対等位置より

<前回>343回144目(24-194-529)出席者79名

資料1)2-3-1第3429回(24-24-1929)のまとめ(清水)

資料2)妙心寺の鐘銘について百済人祢氏の墓碑銘(気賀沢、岩田、(藤田清水)

資料3)隅田八幡神社鏡銘(古田、榛葉)

資料4)朝日新聞1月24日れきし歩き岩戸山古墳(高木)

A 報告 本日は雨になり、寒さも厳しくなると予報。金曜webは藤田氏が妙心寺の鐘の内部の陽刻の銘文の解説を行った。筑紫の観世音寺の鐘の銘とも一致する。兄弟鐘である。で服部氏が藤原不比等の過大評価説に疑問を呈する発表があった。各種資料を用いて、説得性が高い発表であった。私は「多胡碑」に不比等の名前が出ていと質問した。いろんな資料から関西の服部氏が不比等の権力基盤についての考察が論理的だったのを受けて質問した。多胡碑については後日丁寧な紹介を受けた。「羊」は周囲が郡司に任命されたのを疑問視しているのを、打ち消すために、上位3名の最下位(第3位)の不比等の名を出したのは、中央政界で最大の実力者と評価されていたのではないかという意味で質問した。入手経緯、時期、徒然草まで引用して深い紹介をした。今は国宝として保管され、妙心寺には模造品がつるされている。音律のもとになっている。今回資料を1ページ配布・あとの分は回覧する。

B資料 2)回覧資料には、字句の訳、黄鐘調、過去の学者の解説、評木簡、評の事例、錦所談の解説、鐘の図など詳しく記載されているその席上、配布を受けた、「百済祢軍墓碑銘」の解説状況が解説されていたので紹介した。発見当

時、古代「日本」の呼称の最古の金石文と云う報道があった。が祢軍は白村江の占領軍の一員として日本書紀に

も名前が出ている。弟の墓碑は西安から出ていて北京博物館に現在保管されているという。扶桑の文字もある。660年百済が滅亡した時に唐に降伏して、唐の下級將軍として、活躍した。出所は北京の古物商から、拓本として出てきたもの、解説の様子が書いてある。最初の公表は2012年3月である。明治大学の気賀澤氏が発表した。朝鮮の軍将が一族、内陸の西安に墓標があると言うのは、朝鮮問題が片付いて、内陸地の兵隊の長に任命されていたのではないと推定される。封禅の儀の倭国曾長は誰であったか、サチヤマか。

3)榛葉氏より、隅田八幡神社の順佛画像鏡の解説の原史量として配布された。左文、読み方などの参考になる。皆で画像を透かして見て、左文の意味を味わった。丁度今、読書している最中である。

4)高木氏が朝日新聞24日の記事を紹介してくれた。新聞記者の文章は巧く現状をまとめている。磐井について岩戸山古墳が彼の墳墓と確定された経緯や、別区の裁判制度の評価など、話題になった。更に古田先生は何故「磐井継体戦争はなかった」論に変更されたか、調べることになった。

C 読書 朝日文庫版:p51796、兄弟王朝9行目、なお井上光貞は から

書式変更: インデント: 最初の行: 4 字

書式変更: インデント: 左: 0 mm, 最初の行: 0 字

書式変更: インデント: 左: 0 mm, 最初の行: 0 字

(4) ~~——1) 兄弟王朝 日十大王年・男弟王 の二人の王が、二人りの人物として出ている。隅田八幡神社の人物画像鏡の読み方について、水野裕の説に賛同したが、日十を八月十日の意味に採った。理由は「倭の五王」を日本書紀の允恭にして、癸未年は443年とした。忍坂之大中津比売を意柴沙加宮とした。「寿」は「泰」である。①字形判定——左右対称に近い。奉か泰の左文か、直後の「遺」は左文である。(左文とは裏返しにした文字の用法、刻むのは困難、左右逆になる。)~~②対等の論理、従来説は大王・男弟王——天皇、斯麻を配下の人物に当てていた。③「遺」の用例を多数出している。遺(使者)＋敬語(奉、朝、献)の動詞。この鏡の場合は取、作の動詞で敬語表現がない。高橋健自氏は念長寿を年長奉と判読して——を奉ると読解した。(在銘最古日本鏡大正3年)がこのような文型は存在しない。敬語は遺の下に来る文例を上げた。

~~①卑弥呼と男弟、有り、佐けて国を治む。~~
~~②倭王は天を以って兄とし日を以って弟と為す。天未だ明けざる時、出でて政を聴き、迦趺して坐し、日出れば便ち理務を停め云う「我が弟に委ねん」と、共同執政の特徴がある。~~

2) 大王の名 日十大王年

~~①日十を十日と読み替える、誤刻とみる説がある。~~
~~②大王の年(福山説)と解する案が出た。癸未年、意柴沙加宮にある時と3回も時点を連続させているのはおかしい(水野裕)その水野は「年」を「与」と見たが字画上無理である。~~

3) 私の論証

~~①ヒト大王とみる。タリシホコの自称から豊富な矛(筑紫鉾)にかわり、これに豊富な人民を治めている。問題は日十にヒトという、そんな訓読があるかの問題。倭語の訓読表記が可能かの問題。~~
~~②6 世紀初頭には九州王朝にとって訓表記が既に成立していた。これには筑後風土記の岩戸山古墳の衙頭の紹介があり、解部(裁判官)の例を引いて説明している。～部については物部至至連がある。~~
~~③百済の使者 文貴將軍らを送るのに、物部連(名は洩らす)を副えて送った(継体9年、515年)時点の漢字表記の訓読法の用いられた例を多数あげた。~~
~~④「人」に代えて「日十」と表記(装飾古墳の日輪状の絵が多い。多利思北孤が足矛の佳字表記と同じ。~~

4) 「年」について 中国風1字名称 (壹)興(三国志)、旨(七支刀)、讃、珍、斉、興、武(宋書)「年」は稔、人名に用いられた例を多数記す。

書式変更: インデント: 左: 0 mm, 最初の行: 0 mm

書式変更: インデント: 最初の行: 1 字

書式変更: インデント: 左 1 字

書式変更: インデント: 最初の行: 1 字

書式変更: インデント: 左 1 字

書式変更: インデント: 左 1 字

書式変更: インデント: 左: 6.3 mm

~~2024-2-5(月) 14時から17時 601会議室~~
~~2-19(月) 14時から17時 602会議室~~~~3-25(月) 14時から17時 601会議室~~
~~4-8(月) 14時から17時 601会議室~~
~~4-22(月) 14時から17時 602会議室~~